

田島中学校区義務教育学校開校に向けた説明会でのご意見・ご質問

令和2年2月9日（日） 田島小学校開催分

1	ご意見・ご質問	昨年の説明会よりもわかりやすく納得ができた。また、小中一貫校についてのメリットを聞くことができ、それについても納得ができた。小学校と中学校の教員が協力しあうとの説明があったが、その中で教員向けのフォローはどのように考えているのか。今回の説明会の内容は実現すれば良いものになると思うが、教員へのフォロー体制などきちんとシステム化していくのか。
	回答	現在、田島中学校区の2小学校1中学校の教職員で開校に向けて組織づくりを行っています。新校開校に向けて必要な準備段階から2小学校1中学校の教職員で関わり、協力して一緒に取り組んでいくことで教職員同士が互いを理解しあうことに努めています。また、教職員配置についても子供の不安解消のために、できる限り現在の3校の教員を配置していきます。教員同士で良い関係性を築くことで児童同士の関係性の構築につなげていきたいと考えています。
2	ご意見・ご質問	新しい校舎と児童放課後いきいき事業（以下、「いきいき活動」）についての説明を再度してほしい。
	回答	新しい校舎については、4階建てで屋上に小学生用プールを設置します。新校舎と既存校舎の接続は、北側は1階から3階までを廊下でつなぎ、緊急時に車両が通れるようにしなければならないため南側は1階だけです。新校舎設置でできる中庭はいきいき活動や小学生が遊ぶスペースと想定しています。給食室は新しい校舎の1階に配置します。
3	ご意見・ご質問	現在の中学校の校舎はそのまま中学生が使い、新しい校舎を小学生が使うということか。
	回答	新しい校舎は小学生がメインになります。ただ、教室の改造なども進めていきますので、全体の教室の配置はこれから学校運営上の観点で3校の学校長と教育委員会事務局で相談しながら今後決定していくこととなります。
4	ご意見・ご質問	体育の時間の校庭は、時間をずらして使うのか。
	回答	体育は基本的に新校舎の東側を想定しています。体育では使いにくいですが、今の田島小学校の運動場を第二運動場として残すことにしていますので、部活動では現在の運動場と第二運動場を利用できます。
5	ご意見・ご質問	中学校のプールは中学生が使い、新しくできるプールは小学生が使うということか。
	回答	中学生は現在のプールを、小学生は新しいプールを使用します。深さ等は今の基準のままです。

6	ご意見・ご質問	新たな学校となったときは、各学年の教室が移動するかもしれないということか。
	回答	全体的に児童生徒も教職員も移動しやすいような形としていますので、全体の学校運営の観点で新しい教室配置を決めていくこととなっていきます。
7	ご意見・ご質問	小学生の授業時間は45分で、中学生は50分であるので、時間のずれがある。今はチャイムを鳴らしているが、それもなくすとか、どんどん進めて説明していただけるということか。
	回答	例えば、授業開始のときだけチャイムを鳴らすというやり方の学校もあります。小学1年生と中学3年生は体格も異なりますので、例えば、休憩時間をずらして子どもたちが遊ぶ時間をずらす等、安全にも配慮しながら運営方法をきっちりと決めていくことになっています。
8	ご意見・ご質問	中学生が集中してテスト受けている間に、小学生が休憩時間で騒がしくなったりすることもしっかりと考えていただいているのか。学校再編はすごく良い話だと思うが、子どもが開校後に受験を控えるので不安なところもある。きっちりと対処してほしい。
	回答	休憩時間をどういうずらし方をしていくのか等、これからきっちりと詰めていきます。現在、3校で連携をとりながら、検討に入っている段階です。
9	ご意見・ご質問	小学1年生と中学3年生が一緒にいるという点で無理がある部分もある。小学生中学生双方が我慢していくデメリットがあるのではないか。中学生のクラブ活動と小学生のいきいき活動、そして休憩時間の活動等、子どもたちが今までできていたことをできるようにしてあげてほしい。
	回答	休み時間の安全な過ごし方についてのルール作りは教職員と一緒に作ってきたいと考えています。安全第一ではありますが、子どもにとってできないことばかりではしんどいと存じますので、過去に再編した小中一貫校の前例に学びながら進めていきます。例えば、部活動を小学校高学年から行う、異学年交流を行う、といった小中一貫校特有の取組を行いながら、学校再編が子どもたちにとって良いものとなるように進めていきます。
10	ご意見・ご質問	校舎のレイアウトについて、新校舎は他の所へは持っていけないのか。他区の例を見ても、再編しているところはどこもスペースが狭くなる。部活動が今まで通りできないのではないか。
	回答	様々な形式を検討した結果、今の形が実質の運動場が一番広くなる形であるため、ご提案させていただいている形と決めさせていただいています。部活動については、再編後のスペースで不足であれば他の場所を借りるなど、進め方は検討していきます。

11	ご意見・ご質問	放課後にいきいき活動へいかない児童は現在どうしているのか。児童が遊べる場所が少なくなるのではと不安がある。
	回答	(学校長より) 冬期はいきいき活動へ行かない児童が学校に滞在できるのは4時までです。6時間目の終わりから考えるとあまり時間はありません。1～2年生は9割いきいき活動に登録しています。それ以外では、一旦帰宅後に田島公園で遊んでいる児童もいます。
12	ご意見・ご質問	今までの小・中学校での活動や自由な遊びが制限されることが不安である。最初は小学校同士の再編の話であったが、話が進むなかで小・中学校の再編の話となった。こんなはずではなかったという結果にならないようにしてほしい。 これから協議会ができるということだが、どんな形で始まっていくのか、保護者の代表としてどんな方が参加されるのか、意見をどれくらい吸い取ってもらえるのか。期限が決まっているため、そこで子どもたちの登下校等の安心安全が確保できない、お互いに話し合いができない、決着がつかないとなった場合にはどうなるのか。
	回答	協議会の委員については、今の時点では、保護者の代表はPTAからご推薦をいただき、地域代表は地域まちづくり協議会にご推薦をいただくよう依頼をしていきたいと考えています。 資料に想定スケジュールがありますが、特に安全対策については、予算を確保する必要があるものは前年の夏までに決定する必要があります。そういった期限が決まっているものについてはスケジュールも優先して進めていきます。
13	ご意見・ご質問	他の中学校区では、すでに学校設置協議会を10回程度開催しているが、田島中学校区では学校設置協議会は立ち上がっておらず、他の中学校区にくらべ、出遅れているような不利益感がある。なぜ田島中学校区では学校設置協議会ができていないのか教えてほしい。
	回答	生野中学校区では学校設置協議会を設置して議論を行っています。田島地域においては、学校がなくなることへの不安を拭いていません。また、まちづくりの観点では、まずは交通アクセスの改善をしてほしいというご要望等のご意見を多くいただいている現状です。しかし、現状のまま学校再編を先送りにすることが子どもたちのためにならないため、総合教育会議を経て、再編に向けて学校設置協議会を設置していくという方針となりました。

14	ご意見・ご質問	今回の再編について、気が付いたデメリットをお伝えしたい。グラウンドが狭くなり、具体的には 180 メートルトラックが 150 メートルになる。小 1～中 3 まですべての学年がこのグラウンドを使用するというのは無理がある案である。校舎のレイアウトについて、建て替えも含めて、もう一度考えてほしい。 さらに、計画のレイアウトでは、目の行き届かない場所ができてしまうことも問題ではないか。2 年間の工事とその後の改築改装などを計画しているが、その計画では現小学 6 年生は 3 年間工事現場で学ぶことになる。保護者と児童にとっての 3 年間は大きい。
	回答	レイアウトは再編後、今より狭くなるのは事実です。しかし、この形が限られたスペースで一番広くグラウンドをとれる案であるのでこの形で進めていきたいと考えます。スケジュール等については、検討後回覧でお伝えしていきます。子どもへの負担ができるだけかからないよう進めていきます。
15	ご意見・ご質問	小中一貫校にもデメリットはある。9 年間人間関係が固定されてしまう可能性や、高 1 ギャップを強く感じることもあるのではないかな。現状であれば小学 6 年生で培われるリーダーシップが醸造されず、対ストレス性が弱くなるのではないかとといったことが懸念される。
	回答	小中一貫校のデメリットについては、いかにデメリットを抑えてメリットを大きくするかということを考えて進めていきます。もちろん 1 つの学校で小学校と中学校の教員が共存するということは簡単ではありませんが、今まで前例として作られた小中一貫校のメリット・デメリット踏まえて、田島中学校区でも取り組んでいきます。
16	ご意見・ご質問	小学生と未就学の子どもがいるが、和式のトイレの使用ができない。新校舎となってトイレはどのようなになるのか。
	回答	新校舎建設のなかで、トイレも整備します。洋式トイレも一部設置し、和式トイレも設置する計画です。